

# 統計課アラカルト

今回は、住宅統計調査、学校基本調査、茨城県常住人口調査など、人口、学事統計を担当している人口学事統計係に登場してもらいました。

この係は男4名、女3名の総勢7名で構成されています。目下、住宅統計調査の審査中で猛烈な追込みをかけています。

以下係員の面々を紹介します。

係の総括をしている木口係長。統計課14年の経験を持ち、昭和38年までは学事統計を専門に担当していましたが、39年に人口統計と学事統計が統合されたので、その後はこの両方を担当して現在に至っている本県統計の元祖的存在。45年国勢調査を担当し、目下、昭和50年の国勢調査に向けて意欲満々たるところ。那珂町から通勤しているが、家庭はいまのところ娘さん息子さんがそれぞれ、大学、社会へと巣を離れているので、かつての新婚時代よろしく愛妻と二人暮らし。

菊と盆栽を愛する44歳の温厚な紳士佐藤正敏主幹。国勢調査、住宅統計調査を担当し、係の相談役的存在。統計課は木口係長に次いで12年の経歴を持つ課内でも数少ない統計マン。筆者のような駆け出しにとつては後光がさしているように見える。若かりしころは保健予防課に勤務していただけあって、奥さんのほかに中学2年生の息子さん、それにお嬢さんの4人の家族構成。菊づくりは5年以上のキャリアというから今頃は庭のいたるところ



ろに豪華けんらんたる菊が咲きぞろい、拝見する価値は充分というところ。

学校保健統計調査を担当する屋代淑枝主事。市内渡

里町より通っている学研者タイプの人。茶道は免許皆伝、文学は自から筆をとり、音楽はカラヤンと趣味と教養の深さは統計課でも指折りの存在。また旅をすることも好きで、国内の名所旧蹟は行ってないところがめづらしいぐらいで、自然の美を尋ねる優しい心を持っている。

学校基本調査を担当しているのが常陸太田市出身の永井和世主事。当課在籍4年目だが総理府統計研修所の専科研修を履修しており、市町村や県で実施する基礎研修や専門研修で講師を勤めているので読者のなかには、あのウイットに富んだ話し方を聞いた方もたくさんおられるものと思われる。彼氏云わく「趣味は何か一つだけやるから趣味というので、なんでもやる人には趣味という字はない。」とか。特に強調したいのは、麻雀、カードなどなど、ギャンブルならすべてこれプロ級、モナコあたりのカジノをさすらい歩いた方が似合っているのかも!!

県の常住人口調査を担当している嶋根悦子主事、10月の人口はと聞けば、2,250,372人なんて数字がボンと出てくる。現在は水戸に住んでいるが出身は久慈郡金砂郷村。総務部広報課から今年6月転勤になって早や6カ月、目下書道に熱中している。教える先生もその上達のはやさには驚くばかりとか。残念ながら流派は聞きもらした。

住民基本台帳人口移動報告に関する業務を一手に引き受けている人口学事統計係若手のホープ、秋山桂一主事補。石岡に生まれ石岡に育ち石岡から通っている。出生数を毎月綿密に調査していると4月から6月は生まれるものが一番多いそうである。中央大学の通信教育講座を

受講しており、昔流にいえば「たぐいまれなる好青年」といったところ。

最後に御登場願うのはこの係の山ほどあるこまかい仕事を引受けている川上久美子さん、趣味は友達と洋菓子をつくることで、みんなで作っているときに最高の気分という。最近も3人でデコレーションケーキを作ったば

かりとか。出来あがればそのまま食べてしまうのがもったいないほどの出来栄え。世の甘党の男性諸君はこんなお嫁さんを持ちたいと日頃思っていることだろう。是非にと思う方がありましたら当課の木口係長まで、世話の労はいとわないとのこと。これを特につけ加えて本号統計課アラカルトはおしまい。

---

## 統計ニュース

### — 12 月 の 行 事 —

- 3日～ 7日 漁業第5次センサス調査票審査会
- 11日～14日 農業基本調査説明会
- 12日～17日 小規模事業所給与等実態調査  
調査員打合会（水戸・土浦・下館）
- 28日 御用納め